

ふりがな氏名	ながせ ともひろ <b>長瀬 智寛</b>	都道府県	愛媛県	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛県立三崎高校公営塾 / 塾長</li> <li>・愛媛県青年国際交流機構 / 会長</li> </ul>			
関心・活動のSDGs				
私のESD活動	日本の教育機関で「幸福」をキーワードに、講演やオンライン交流会を地域の高校生に向けて行っている			
<b>活動の概要</b>				
<p>離島中山間地域を中心に活動している高校魅力化プロジェクトの一環で愛媛県伊方町に開設された町営塾で勤務している傍ら、その人的ネットワークを活用し、全国の高校生同士交流する機会や高校生と異なった背景を持つ大人とのオンライン交流会を設けている。そこから地域性や宗教、LGBT など離島中山間地域にいると感じる機会の少ない多様性に対話することで生徒に考えて向き合う機会を体験してもらいたいと考えている。</p> <p>離島中山間地域という地理的ハンデがありながらも、生徒一人一人が創りたい社会に向かっていくために多くの方々と対話することで、未来を作り出す力を育むイメージを具体的に持てるように促している。個々人から興味関心を引き出し、それに合った方々と生徒を繋いでいるので、内的動機によって生徒は活動しているので、生徒の積極性も非常に高く保っている。このようなオンラインでの取り組みでイメージを具体的に持つことができた生徒たちは、アイルランド留学や世界ユースサミットへの参加、ファシリテーション力を磨くために定期交流会を主催など、自分で描いたイメージを実現させている。初めは、与えられた環境で活動していた生徒たちが、自ら環境を創り、活躍する環境を整えている姿を非常に逞しく感じている。</p>				
<p>・三崎高校公営塾 FB <a href="https://www.facebook.com/misakijyuku/">https://www.facebook.com/misakijyuku/</a></p>				
<b>私が考える教育の未来像</b>				
<p>学校の中での教育だけでなく、地域や自然、異文化、インターネットなどの外部環境を活用し、今よりもたくさんの実体験を積むことが推進される教育になってほしい。そのためには、今よりもより多様性という差異について寛容になる必要があるため、その過渡期をうまく繋ぎ乗り越えていくような実体験をしてほしい。またどんな環境に生まれ育っても、自ら選択することができる。その選択を正解にしていくために努力をする。自分のみたい未来をつくりだせる意欲と創造性を育むことができる社会を目指す。教育者が率先して、学び続けることで若者に刺激を与え続ける。教育者が一番学び続けるのが当たり前。そんな未来像を描いている。</p>				
<b>私の強み、活かせる経験やスキル</b>				
<p>フィジー共和国の語学学校にてスクールカウンセラーとして勤務していたので、傾聴することと表面上では見えないコンテキストを理解することに長けていると考えています。それらは、他の参加者と連携協働する上での人間関係構築に役に立ち、他の参加者からの情報を積極的に手に入れることができるため、対話を促進する上で大切な要素です。また傾聴や理解で終えることなく、それらに対して自らの主張をすることを普段から意識していることもあり、他の参加者と連携協働しながらも、うまく切磋琢磨できると考えています。</p>				